



令和7年秋号(2025.10) 第8号

アンリー・デュナン会 揺籃会 会報誌
— 会報 フリューゲル —



「医療界隈…」

社会医療法人 アンリー・デュナン会
社会福祉法人 揺 籃 会

理事長 永 倉 隆 太 郎

医療界隈では、全国の病院の7割が赤字決算であるという報道があり、非常に厳しい時代になっております。人口減少や人材不足、賃金アップ政策などによる人件費の高騰、著しい物価高騰と未だにコロナの影響が続いている状況にも関わらず、医療費削減政策などにより保険点数が見合っていないことや受診控えなどによる患者数の減少が主な要因であります。私たち病院・施設も例外ではなく、非常に厳しいと言わざるを得ません。一部施設の休止や運営状況の変更など行わせていただいております。配置転換などで職員の皆様にご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

現在、この厳しい時代を乗り切るために、医師の皆さんへお願いし、病床稼働率をさらにUPさせることを進めておりますので、揺籃会の各施設も含めて、すべての職員のご協力が必要となっております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

最近、職員間でのコミュニケーショントラブルがあるとたびたび聞こえてきます。強い口調で言ってもそれほど問題視されない時代もありましたが、現在は、「強い口調、言葉」というものが本当に必要なのか? と問われる時代となっております。医療・介護においては、人と人のコミュニケーションは最も大切であるとされております。「相手を思いやらないきつい言い方をする」ということは、ハラスメントになってしまいます。長く一緒にいると雑な言葉を使ってしまいがちですが、受ける側にとってはいい感じはしないものです。相手を大切に思う事、言葉にもやさしさが必要だということです。今一度、同僚や利用者様に対しての自分自身の言葉が不快な思いをさせていないかを考えてみてください。

コロナやインフルエンザが心配な時期になってまいりました。自己管理を徹底した同士であれば、共に楽しい時間を過ごすことも大切ではないかと思っております。法人全体での催しは今しばらく様子を見ている状況ですが、施設へ感染源を持ち込まない様十分注意をして、仲間同士で、部署内の一部で、施設へ感染源を持ち込まない様十分注意をして、仲間同士で、部署内の一部で、良いコミュニケーションを図っていただくことは良いのではないかと思います。

これからもよい環境ですごしていけるよう考えてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

もくじ

- | | | | |
|-----------------------|---|----------------------|---|
| ●理事長挨拶…………… | 1 | ●揺籃会シンボルマーク完成…………… | 4 |
| ●就任挨拶…………… | 2 | ●甲状腺専門外来開設…………… | 5 |
| ●ミャンマーから特定技能生の紹介…………… | 3 | ●外国人材生活安全講話…………… | 5 |
| ●優しさを伝える～ユマチュード…………… | 3 | ●揺籃会Instagram開設…………… | 8 |



就 任 挨 拶



『就任のご挨拶』

グループホーム 忘れな草
ケアハウス えんれい草
認知症対応型デイサービス 福寿草

管 理 者 吉 村 大 祐

皆様方には日頃より当施設の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り心からお礼と感謝を申し上げます。

この度、令和7年4月1日付にてグループホーム忘れな草・ケアハウスえんれい草・認知症対応型デイサービス福寿草、3施設の管理者に就任致しました「吉村 大祐」と申します。

当法人へ入職し、勤続20年を迎えた節目の年に3施設の管理者という大役を仰せつかり、就任前は戸惑いと不安がありましたが、現在は優和の郷・信に管理者として在籍していた時と同様に、目標達成に向け常に前向きに協力してくれる職員に恵まれ、その環境下で新しい挑戦の場を与えていただいたことに感謝しております。

今後も歴代の管理者・職員の皆様が開設後より脈々と受け継ぎ築いてこられましたそれぞれの基盤をもとに、ご利用者の皆様が日々健やかな生活を営むことができ、ご家族の皆様任せて安心だと思っていただける事業所を目指し、職員全員が日々微笑みを持ってその職務に邁進できるよう、管理者としてしっかりサポートしていきます。

また、地域に根付き開かれた地域密着型の事業所として、地域福祉に貢献し市民の皆様を選んでいただける事業所を目指し日々精進して参る所存でございます。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



『就任のご挨拶』

グループホームホーム 優和の郷・信

管 理 者 大 谷 内 雅 美

令和7年4月1日付にて吉村前管理者の後任としてグループホーム優和の郷・信の管理者に就任致しました大谷内雅美と申します。

介護の現場経験が長い中、グループホーム勤務は初めてで、管理者という大役を仰せつかり戸惑いもありますが、ご利用者の皆様が日々健やかな生活が営めますよう、また職員の皆様が日々笑顔を持ってその職務に邁進できるよう、しっかりとサポートしていきたいと考えております。

また、地域に根付き開かれた地域密着型の事業所として、地域福祉に貢献し市民の皆様を選んでいただける事業所を目指し、まことに微力ではありますが日々精進して参る所存でございます。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ミャンマーから特定技能生の紹介

清祥園では令和4年12月より特定技能生の受け入れを開始し、これまでに5名の入国を迎えてそれぞれがスタッフの指導の下、介護技術や日本語指導等を受けながら懸命に頑張っております。

慢性的に続く介護人材不足から定期的な特定技能生の受け入れを続けており、遡ること本年1月8日でありましたが、社会情勢が混沌とされておりますミャンマー国より新たに2名が入国されておりますのでご紹介致します。



エイさん

ザーさん

エイさんはいつも笑顔でスタッフやお客様との接して頂き、皆さんからとても好感を持ってもらいながら現在頑張っております。すっかり日本での生活にも慣れておりご自身だけでも外出したりと行動も積極的に行っております。

ザーさんは手指に少しだけ障がいがありますが、そんなハンディを飛ばすように努力家であります。そんな真面目なザーさんではありますがユーモアな面もあることからスタッフやお客様からは好印象であります。現在2名は半年を超えてきており、仕事やプライベートも含めて慣れてきている時期になります。これから大切な時期を迎えますので当施設スタッフも改めて協働していく為にコミュニケーションを深めチーム力の向上に努めていきたいと思っております。

今後さらに2名の特定技能生の受け入れも計画しており、当施設においても全スタッフの1割が外国人スタッフとなってきております。これからますます多様化されていく事と思う中、異国の文化や風習を学びつつそれらをサービスの中に取り入れれたり等の工夫もしていければと思っております。

優しさを伝える～ユマニチュード

優しさを伝えるケア技術、健康上の問題や年齢による影響でさまざまに機能が低下して他者に依存しなければならない状況になったとしても最後の日まで尊厳をもって暮らし、その生涯を通じて人間らしい存在であり続ける事を支えるためにケアを行う人は常に「私はあなたの事を大切に思っています」というメッセージを発信し続けることが重要です。

ケアを必要とする人の人間らしさを尊重し続けることがユマニチュードの状態であり哲学ですとお話していただきました。次に水平で瞳をみて見つめる、低めのトーンで穏やかに優しい口調でポジティブな言葉で途切れる事なく話し、広い面積で包み込むようにゆっくりと触れましよう実践を交え行ってもらいました。

言語や文化、生活習慣の違いから相互理解が不足している場合があります、外国人とのコミュニケーションを積極的に行い理解を深める必要があります。外国人だからと差別するのではなく協力し合い患者様、利用者様のために介護を共に行うということが一番大切な事ではないでしょうか。

コミュニケーションをとる手段の一つとしてユマニチュードの技法を用いて円滑に行えるようにしていただけたらと思います。

(前えんれい草管理者 川副 浩子)



揺籃会シンボルマーク完成



社会福祉法人 揺籃会

揺籃会のシンボルマークができました。このシンボルマークは、子供から年配の方まで（生涯）手をつなぎあって支えていく、手をつなぎ合った人たちでハート（安全・安心）を表現しています。

今後このシンボルマークが揺籃会の価値と認知度を高めるだけでなく、地域の方々との感情的なつながりも生み出していければと思います。



2人前 260g 入り



地場産のそば粉を使用し、道産小麦粉「はるゆたか」とのブレンド。風味豊かで腰の強さが自慢です。



税込み価格
¥380



2人前 260g 入り



道産小麦使用の生めんタイプ。生めんならではの喉ごしをお楽しみください。



税込み価格
¥300

甲状腺専門外来開設



糖尿病・甲状腺専門医
川島 彰透 医師

深川第一病院では、4月21日より甲状腺専門外来を開設致しました。担当は、日本甲状腺学会専門医の川島彰透（かわしまあきゆき）医師です。先生はこの他に糖尿病専門外来も担当しています。

国内では、甲状腺疾患の罹患数は500～700万人で、そのうち治療が必要な患者は約240万人と推計されます。しかし、実際に治療を受けているのは厚生労働省令和5年患者調査で約90万人とされており、未治療の患者が多く存在しているのが現状です。

その理由として、甲状腺疾患はよくある病気にもかかわらず多様な症状を呈するために、他の疾患と誤認したり、認識されなかったりすることの多い疾患であることが挙げられます。

現在、専門医は道内に26名しかおらず、その専門性が非常に高く要求される分野であり、空知圏域及びその近郊においての役割は大きいと考えます。

一般的な症状として、全身倦怠感（だるさ）、疲れやすい、甲状腺の腫れ、むくみ（顔、全身）がある方や甲状腺疾患と診断され、定期検査を希望される方は、一度当院外来スタッフにお問い合わせ下さい。

(TEL.0164-23-3511)

※甲状腺専門外来は、予約診療となります。

※受付は、毎週月曜日13:30～16:00 (深川第一病院 宮崎)

外国人材生活安全講話

5月12・16・23日の3日間に渡り、深川第一病院・新雨竜第一病院にて、深川警察署と雨竜駐在所から講師をお招きし、当法人に勤務する外国人を対象とした「生活安全講話」を開催いたしました。

道警の安全・安心カルタ遊びをしながら、例えば㊟「災害に備えて安心 我が家防災」のカルタが読まれると、防災ハザードマップを基に、災害時の避難場所や、防災グッズに何を備えるか等のお話があり、㊤「自転車は防犯登録 ツーロック」のカルタが読まれると、自転車の交通ルールや防犯登録に関する話があり、カルタ遊びを中心に講話が進んでいきました。

又、最近では警察でもアプリを用いて、母国語で警察で相談できるようになったとの事から、英語やタガログ語、ネパール語での警察相談シミュレーションを行ったり、酩酊状態になったらどのように視覚が変わるか、ゴーグルをつけて歩いてみる体験を行ったり、護身術を学ぼうのコーナーではキックやパンチのやり方や、相手に腕を掴まれた時の払い方等、体を動かしながら学んだり、あっという間の2時間半の講話となりました。

参加者には反射材のプレゼントがあったり、一番カルタを多くとった方には警察グッズのプレゼントがありました。

普段、僕ら職員では気付かない視点から今回はお話しを頂き、大変、有意義な講話となりました。深川警察署の皆さん、ありがとうございました。



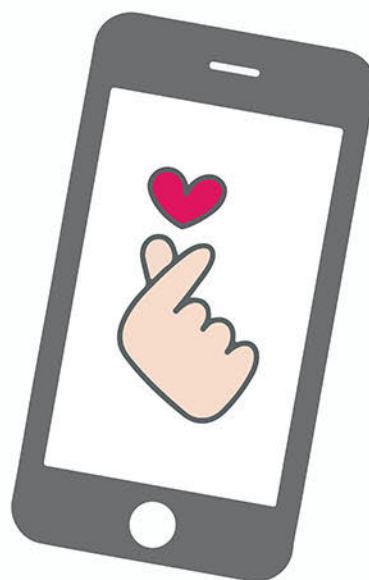
news!

ついに開設
しました!

Instagram 公式アカウント

フォロー・いいね
お願いいたします!

🔍 @YOURANKAI_



社会福祉法人揺籃会ではInstagramを開設致しました。
ご利用者様の笑顔を中心に発信致します。
また事業所の紹介やイベント情報、販売製品の情報など
楽しいあれこれをお届けします。
お気軽にフォローをお願い致します

